

「駒澤大学経済学部の近況」

経済学部 学部長 清水 卓

こまざわ 経済 通信

発行
駒澤大学経済学部
同窓会
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢
1-23-1



初めまして、今年四月から二年間、経済学部長を務めます清水卓です。よろしくお願ひ致します。駒澤大学経済学部の近況報告として二点ほどに絞ってお話したいと思ひます。

第一点は、大学経済学部への社会的ニーズが大きく変わってきたということ。日本経済の長期低迷の中で、毎年送り出す卒業生の就職が非常に困難になってきていることは、皆様も痛切に感じになっておられることと。

幸い経済学部では定員割れを心配する必要はないと思われまが、大学への全入時代が近づき、将来への不透明さも手伝って、学問に地道に取り組むといった雰囲気は薄れてきたのではないかと懸念しております。こうした厳しい現実の中で、ここ数年で陣容が大幅に若返った経済学部専任教員四十名は、より充実した教育や、学習環境の改善をめざし日夜努力を重ねております。平成十六年度からは、経済学科とは異なった商学科の独自性を強める方向で大幅なカリキュラム改革が行われます。また、今後数年の内にフレックスB（かつての二部が母体）の改組を進める予定で精力的に検討中です。社会に開かれた活力ある経済学部を目指し、駒澤大学経済学部も時代の激変に対応して大きく脱皮しつつあります。そのためにも、インターンシップの運営への参加や、社会の現場の状況を直接学生に伝える形での講師派遣など、同窓会員の皆様のご協力やご支援を大いに期待しております。また、経済学部へのアドバイスやご叱責などを、お寄せ下さい。同窓会員の皆様のご健勝を祈念いたします。



禅文化歴史博物館（旧図書館）



パオ前 キャンパス風景

たより

大学では今、卒業生が年に一度キャンパスに戻り、同窓生、在校生、教職員との交流を深める「ホームカミングデー」を企画しています。同窓会組織として都道府県単位の各支部同窓会、学部同窓会等が在りますが、ホームカミングデーは卒業されて何年か経て、いろいろな業界で、また社会でさまざまな人脈をもつ方などから意見を聞く集いの場としての考えです。一番の目的は大学（キャンパス）と同窓生の連携を今以上に深めることを目標にしています。

経済学部同窓会では、この学部を越えた企画に対して、協力が出来る場面があったら積極的に参加、協力してゆきたいと思っています。同窓生の中で大学にご意見等がありましたらどしどしお便りをいただければ幸いです。

お便り先
〒一五四一八五二五
東京都世田谷区駒沢
一一二三一
駒澤大学経済学
部同窓会

経済学部ゼミシリーズ

★浅野ゼミ

三年ゼミ長「こんにちは、OBのみなさん、今日はわがゼミの授業風景とか紹介します。ときにゼミ、テーマなんでもしたっけ？」

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち



「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

★福原ゼミ

福原ゼミ卒業生の皆様いかがお過ごしでしょうか？

今回は演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを代表しまして演習Ⅲ、私達四年生のゼミでの活動を中心にご報告したいと思います。現在の主な授業内容

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち



★安元ゼミ

安元ゼミナールOBの皆様、お元気でご活躍のことと存じます。私達は、現在、在籍している人数は、二年生は二人、三年生は八人、四年生は八人となっており、それぞれの学年ごとに、経済史を勉強しています。二、三年生はゼミを中心に勉強し、四年生は就職活動や、卒業論文に向けて、日々精進しています。

私は現在四年生で、卒業論文を進めています。安元ゼミでは、「ヨ

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち



「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

「アホー！今日まで聞いてきたんだろ。現代日本経済をマクロ的・ミクロ的観点から分析しようよ」といって結構なもんじゃ。ヨロおぼえとき。」

成田飛行場ワキ在住の四年生「OBの皆さんに聞きたいんだけど、浅野ゼミは先輩たち

深く勉強していただきます。夏合宿でもこの本を用いています。合宿の発表の際は、学年を分けること、発表すること、様々な意見や研究を聞けること、交流を深めることができ、とてもたのしく学ぶことができました。

★大石ゼミ

一つずつ理解していくゼミのため、とてもよく理解できます。安元先生は、よく私達の話聞いて下さいます。特に就職活動をしている四年生にとっちは、励ましてくださることもよくあり、とても感謝しています。最後にになりましたが、OB・OGの皆様、辛いことも多いとは思いますが、頑張ってください。私達も頑張ります。写真は安元先生の研究室での一コマです。

安元ゼミ 執筆者 大野雄介 (四年生)

先輩の皆さん、こんにちは。大石ゼミは一九七四年に開設され、今年三十年目を迎えています。私は、演習Ⅱ(三年)のゼミ長の吉田です。今日は先生のお話も聞きながら、現在の大石ゼミの活動について報告します。

や発展についての理解が深まり、大変なためになると感じています。『日本経済の選択』を教科書として、ダブル経済とその破綻の過程について考えました。今年も、演習Ⅰでは、昨年と同じテーマで学習を取り組み、日本経済の複雑さに触れています。平常の授業のほか、大石ゼミでは春・秋の二回、合宿を行なっています。

経済学部ソフトボール大会大盛況



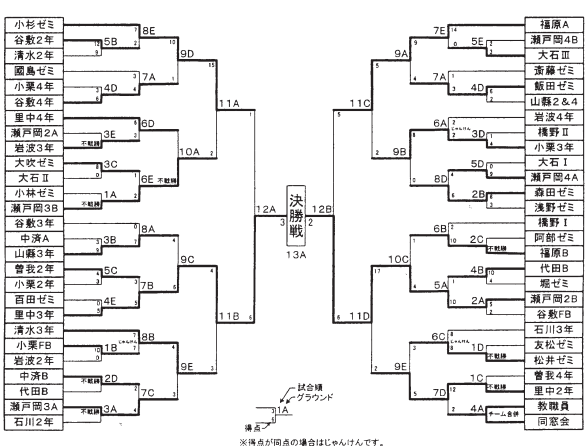
場所でも生活することにより気分が一新され、勉強にも一段と熱が入るようです。大石ゼミには合宿が欠かせません。四年生(演習Ⅲ)は現在、非常に厳しい状況のもとで就職活動を続けています。私たち三年生も、すでに就職活

動に突入しつつあります。これから一年、基礎知識を身につけるため、自分の将来を決める就職活動に積極的に挑戦していきたいと思えます。先輩の皆さんのご健闘を祈ります。経済学科三年 吉田弘樹

第十三回経済学部ソフトボール大会が十月十五日(水)玉川キャンパスにおいて五十四チーム八〇〇人の学生が参加して盛大に行われました。前日は大雨に見まわれ、八時四十分開始の試合は、五分学部長あいさつの後、九時から別表のように対戦が行われた。熱戦の末、十七時三十分から里中三年ゼミVS瀬戸岡二年Bゼミという強豪同士の決勝戦となり、三一二で里中三年ゼミがみごと優勝をおさめた。準優勝は瀬戸岡二年Bゼミ、三位は小杉ゼミ・福原Aゼミとなった。

★岩波ゼミ

経済学部ソフトボール大会トーナメント表



ソフトボール大会に今年が最後のソフトボール大会。決行してほしいという気持ちと、真

夏の日に差しを思わせる天気になった。私達のゼミは十二時五十分から試合開始なので、他の試合より少し遅く集合したり、試合までの時間をキャッチボールの試合を観戦したりして過ごした。新しく芝生を整備されたグラウンドで多くの人が試合を楽しんで、私達も早くソフトボールをしたくてたまらない気持ちになった。対戦相手は小栗ゼミの三年生。相手は既に午前中に試合を終えていた。岩波ゼミの三年生が「相手のピッチャー、球が速くて打てないです」と様子を見て「絶対勝てるよ」と根拠のない自信があった。十三時にプレイボール。私たちのメンパーには数名の野球経験者がいるので、いらく相手のピッチャーの球が速くても打てると思っていたが、その考えは甘かった。すぐに三アウトを取られ、攻撃終了。一回裏、ピッチャーはなぜか私が持つボールの経験がないので、ピッチャーが打たれてしまったらと思う。だが、意外にストライクな球を投げることにでき、また、味方の好プレイにも助けられて、三アウトに。二回表も、相手ピッチャーの球に対応することができず、あっさり三アウトになってしまった。そして二回裏、球はテンポよく投げられた。しかし、二アウトを取った後にフォアボールを出し、さらにヒットを連打され、二点を与える結果となった。「ドンマイ、ドンマイ、絶対追いつこうぜ!」と励ましてくれた。だが、ココロの中は「負けてしまった」という気持ちでいっぱいだった。落ち込んでしまった。表に起こった。八番打者が相手のエラーもありランニングホームランで二対二に。九番打者の私は打てる自信がなかった。二回裏、二対二の連続ヒットで二対二の同点に追いついた。このまま一気に逆転を!と意気込んだが、一歩及ばずに三アウトになってしまった。三回裏はなんとか無得点に抑え、そこで時間の都合上、試合終了となった。

勝敗はジャンケンで決められることになった。私達は二度目の奇跡を信じたがあつさり負け、結局、一勝一敗で終わった。結局、一勝一敗で終わった。結局、一勝一敗で終わった。

勝敗はジャンケンで決められることになった。私達は二度目の奇跡を信じたがあつさり負け、結局、一勝一敗で終わった。結局、一勝一敗で終わった。

勝敗はジャンケンで決められることになった。私達は二度目の奇跡を信じたがあつさり負け、結局、一勝一敗で終わった。結局、一勝一敗で終わった。

勝敗はジャンケンで決められることになった。私達は二度目の奇跡を信じたがあつさり負け、結局、一勝一敗で終わった。結局、一勝一敗で終わった。

勝敗はジャンケンで決められることになった。私達は二度目の奇跡を信じたがあつさり負け、結局、一勝一敗で終わった。結局、一勝一敗で終わった。

経済学部でインターンシップ開始

ーインターンシップ開始にあたって卒業生へお願いー

駒澤大学経済学部

いよいよ平成16年度から経済学部は、大学教育の一環としてインターンシップに取り組むこととなりました。すでに多くの大学でインターンシップが実施され、大きな教育効果をあげていることが報告されております。遅まきながら当経済学部もインターンシップに取り組み、学生の就業体験を通じてより高度な専門教育をめざしたいと願っています。

インターンシップは、日本では始まったばかりですが、アメリカですでに100年近い歴史があります。企業や団体に学生を派遣して、現場での研修・実習を中心に専門的な就業体験を学生にさせるのが目的の授業です。経済学部の専門教育は本来、経済・経営の実際の動向と深く結びつかなければなりません。変化の激しい現代社会では、とすれば社会の現場と大学の教育とがずれがちになります。インターンシップはこのような大学学内の授業ではカバーできない実践的な研修を行うものと言えます。また、近年、多くの学生は社会的経験や勤労体験が未熟で知識を裏付ける現実感覚が非常に乏しくなっています。こうした点からインターンシップは学生の人間的成長にとっても重要な役割を果たすものと考えられます。

このような意義をふまえ、平成16年度から経済学科においては「インターンシップ」(2単位)の名称で、商学科においては「ビジネスインターンシップ」(4単位)の名称で正規の科目としてインターンシップに取り組む予定です。インターンシップに際しては、事前に学内において予備知識や訓練を学生に施し、現場での研修に備える予定でおります。しかし、インターンシップの現場研修については何よりも、企業や団体の力に頼るほかありません。企業や団体においては、すでに社員教育の経験やノウハウが蓄積されており、それらを通じて高い教育力が発揮されていることと思われまます。そうした力を社会貢献の一環として、インターンシップにおける将来への人材養成にお貸しいただければと考えております。

そこで同窓会の皆様におかれましては、インターンシップの意義をご理解いただき、インターンシップにご協力いただきますようお願い申し上げます。次のようなインターンシップの内容を考えておりますので、ご検討のうえ下記の担当の者までご連絡いただければ幸いに存じます。

<インターンシップの概要>

(1) インターンシップの人数、期間・時期

各社に1~2名程度の学生を受入れていただき、2週間程度(約10日間)の現場研修を、8月末から9月初め頃にお願ひします。平成16年度の後期授業開始が9月16日ですので、それまでに実施したいと存じます。

(2) インターンシップの費用

学生への報酬や手当、交通費などの費用は一切、必要ありませんし、また大学からも依頼料などをお支払いいたしませんので、ご了解をお願いします。

(3) インターンシップの基本プログラム

①最初(第1日目)に、会社や団体についての説明をしていただき、現場研修へ向けた心構えや予備知識を与えていただくようお願いいたします。特に説明では、会社の沿革、経営理念や方針、会社の課題などの経営全体にわたるお話しや、実際の会社組織や業務内容などの具体的なお話しとともに、学生への期待や要望などのメッセージをいただければ幸いです。

②次(第2日目以降、約7~8日間)の現場研修の内容や方法は会社にお任せしますが、一般的には見学だけでなく、現場での勤務や補助を基本とします。複数の業務や部署を体験させていただけるとありがたく存じます。会社によっては、学生のセンスを生かした調査やマーケティング企画作りをさせるところもあり、各社各様に対応していただくようお願いいたします。

③最後(最終日)に、インターンシップのまとめを学生にさせたいと、会社としてのアドバイスや励ましをいただければ幸いです。

(4) 大学の対応体制

経済学部としてはインターンシップ担当の教員(複数)が受入れ先との対応をさせていただきます。また学生所属のゼミナール教員も学生たちをバックアップする予定です。

(6) インターンシップ中の保険

大学として保険料を負担して「学研災付帯賠償責任保険」に加入し対人、対物の賠償に備えていますが、さらに経済学部としては学生自身の傷害保険も設定し、事故等への万全の対応を図りたいと存じます。

(連絡先) ビジネスインターンシップについてのご連絡やお問い合わせは以下の担当者までお願いいたします。

経済学部 小栗崇資 TEL 3418-9374 (研究室)
FAX 3418-9343 (経済学部事務室)
Eメール oguri@komazawa-u.ac.jp

経済学部同窓会第四期分会費納入のお知らせ

平成14年度~16年度の同窓会費6,000円を同封の郵便振替口座用紙を利用してお納め下さるようお願い申し上げます。

《同窓生の皆様へお願い》

住所変更、氏名変更等が生じた場合は、大学同窓会事務局へご一報ください。
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学同窓会 電話 03-3418-9189